

# 2年生の こうつうあんぜん



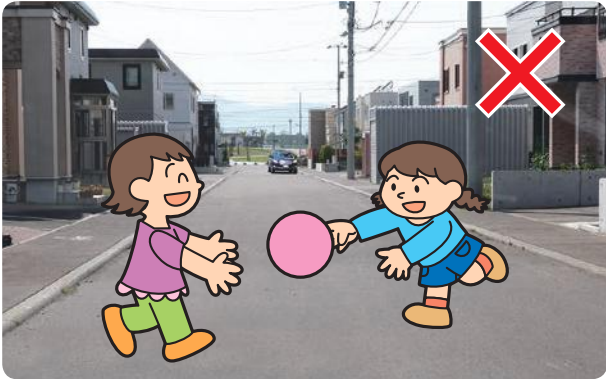
主なテーマ

道路の安全な  
渡り方を身につける

みよし市・みよし市安全なまちづくり推進協議会

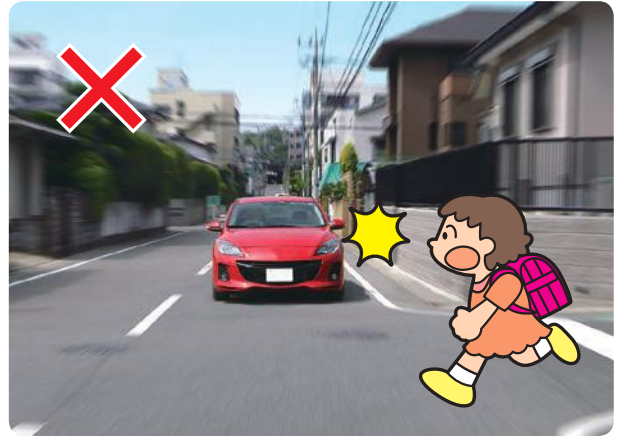
# ちゃんと まもれているかな？

- どうろでは、あそびません。



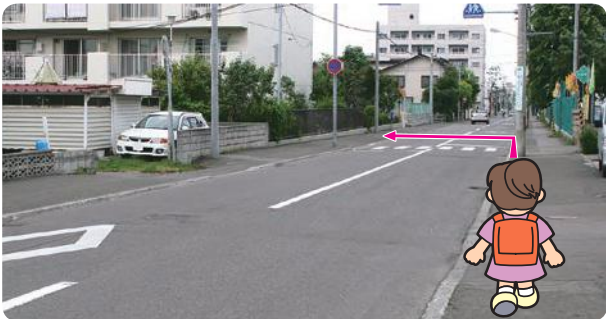
ちかづいてくる 車に  
気がつかないので きけんです。

- どうろには、とび出しません。



車は すぐに とまれません。

- ちかくに おうだんほどうが  
あるときは、おうだんほどうを  
わたります。



すこし とおまわりに なっても、  
おうだんほどうや しんごうき  
があるところで わたりました。

- ほどうが ある どうろでは、  
ほどうを あるきます。



ほどうが ない どうろでは、  
どうろの 右がわの はしを  
あるきます。

- 車に のるときは、  
チャイルドシートを つかいます。

じぶんの からだが 小さいうちは、  
シートベルトを つかう かわりに  
チャイルドシートを つかいましょう。



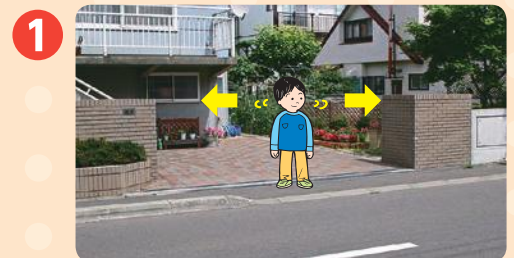


ちかくに おうだんほどうが ないときは、  
あんぜんな わたりかたを まもりましょう。

● つぎの じゅんばんで、どうろを あんぜんに わたりますよ。

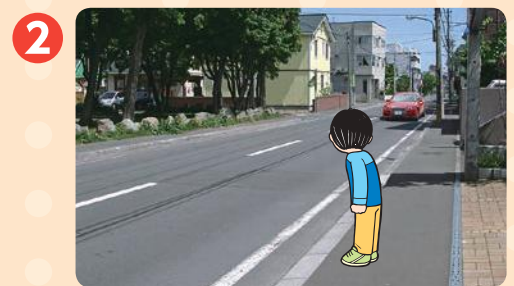
### 1 とまって、見ます。

- どうろの はしで 一ど とまり、  
右と 左を しっかり 見て、  
車が きていないか たしかめましょう。



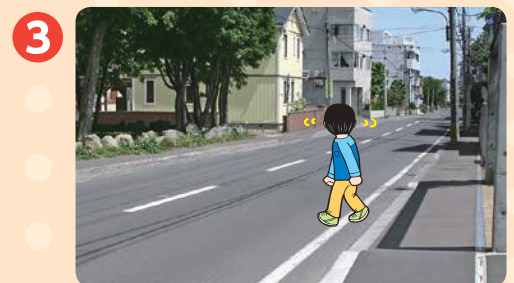
### 2 まちます。

- 車が きているときは、  
車が とおりすぎるまで まちましょう。
- 車が とおりすぎたら  
もう一ど 右と 左を 見て、  
車が きていないか たしかめましょう。



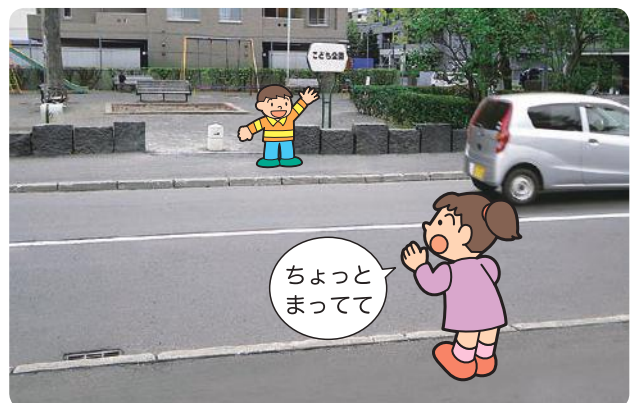
### 3 わたります。

- 右からも 左からも  
車が きていなければ わたりますよ。
- わたっているときも、右と 左を  
よく 見て、車が きていないか  
たしかめましょう。



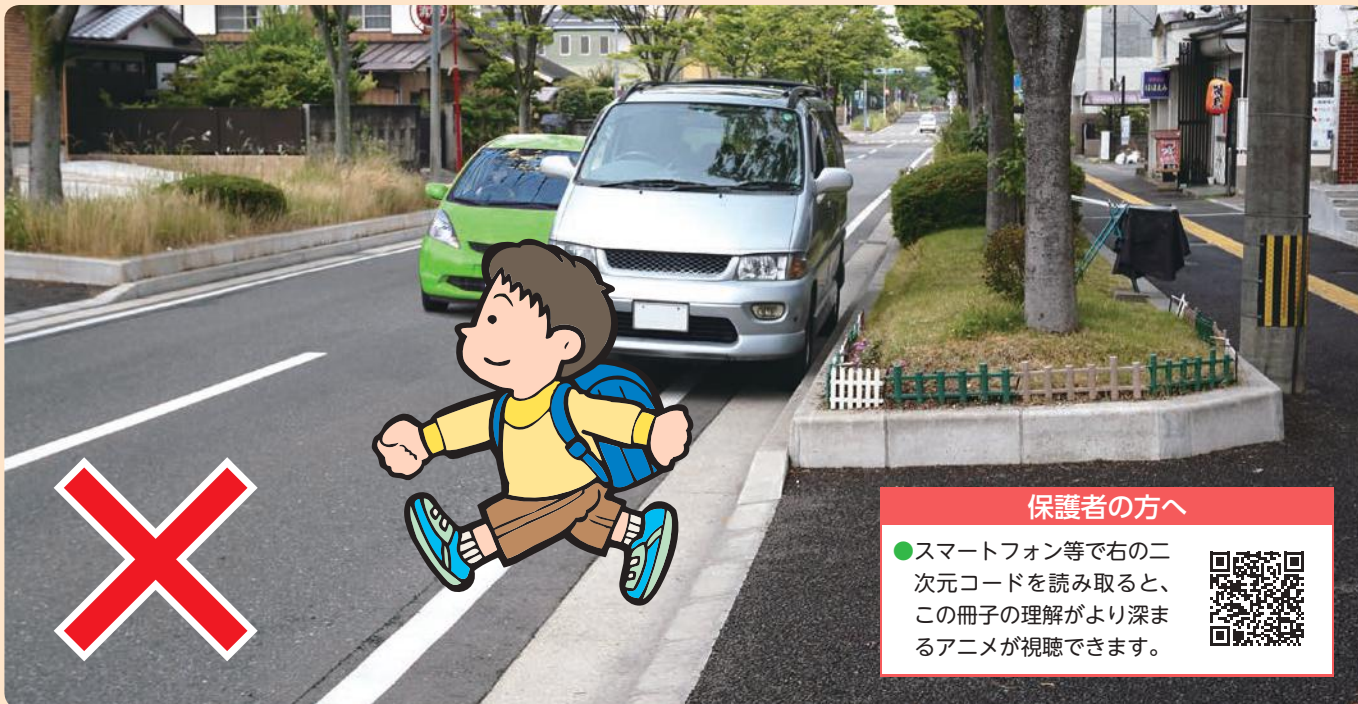
● どうろの むこうから  
ともだちに よばれても、  
どうろに とびだしては  
いけません！

どんなときでも、あんぜんな  
わたりかたを まもりましょう。





とまっている 車の まえや うしろから、  
どうろを わたっては いけません。



保護者の方へ

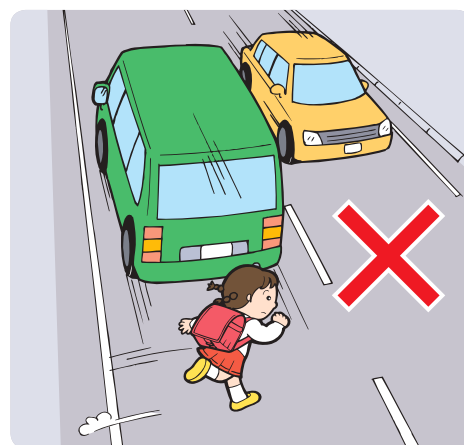
●スマートフォン等で右の二次元コードを読み取ると、この冊子の理解がより深まるアニメが視聴できます。



- とまっている 車の すぐ まえや うしろから どうろを わたると、とまっている 車が じゃまに なって、ちかづいてくる 車が見えないので、とても きげんです。
- うんてん手さんからも、どうろを わたろうと している 人がとまっている 車に かくれて 見えないので きげんです。
- どうろを わたるときは、ちかづいてくる 車が見える ところに いて、車が きていないときに わたりましたよ。

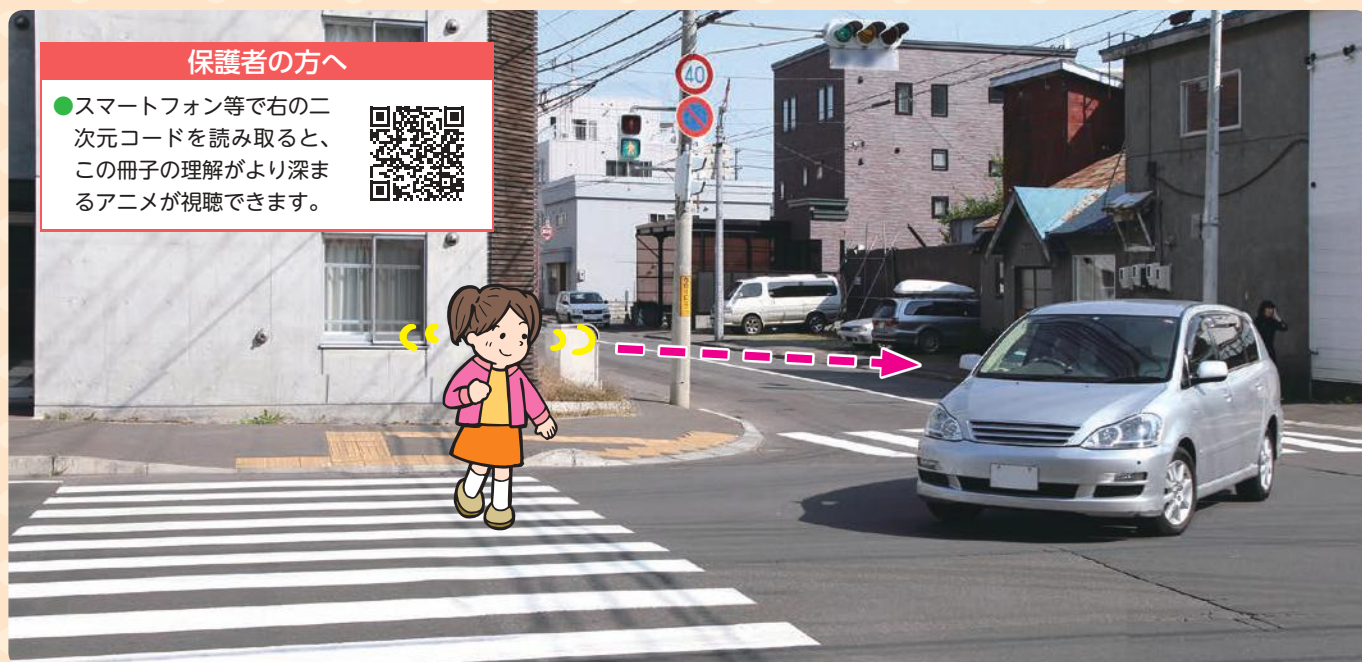
●とおりすぎた 車の  
すぐ うしろから  
わたるのも あぶないよ！

とおりすぎた 車が じゃまになって、  
左から やってくる 車が見えません。  
左からも 車が きていないか、  
たしかめてから わたりましたよ。





しんごうが 青のときでも、車が  
こないか かならず たしかめましょう。



保護者の方へ

●スマートフォン等で右の二次元コードを読み取ると、この冊子の理解がより深まるアニメが視聴できます。



- しんごうが 青のときでも、こうさてんを まがってきた 車が  
おうだんほどうを よこぎります。
- だから、青しんごうでも、まわりを よく みて、  
車が きていないか、しっかり たしかめることが 大せつです。
- どうろを わたっているときも、車が きていないか、  
たしかめながら あるきましょう。

しんごうの きまりを、おぼえているかな？

2しよくの しんごうきが あるときは、2しよくの しんごうきを 見ます。



●赤  
わたっては  
いけません。



●青の てんめつ  
わたりはじめては  
いけません。



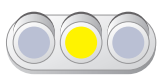
●青  
車が きていなければ  
わたりましょう。

2しよくの しんごうきが ないときは、3しよくの しんごうきを 見ます。



●赤

わたっては  
いけません。



●きいろ

わたり  
はじめては  
いけません。



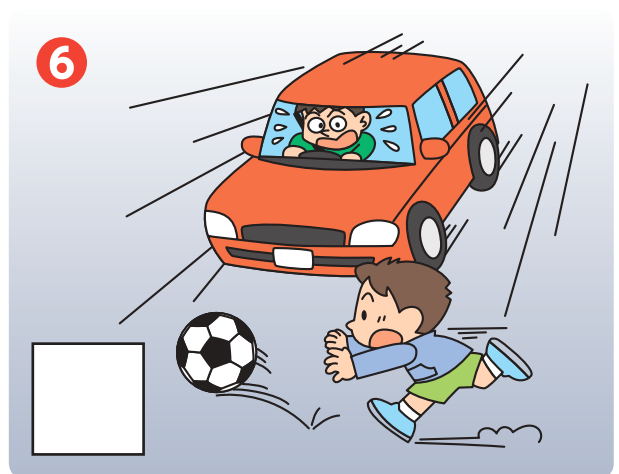
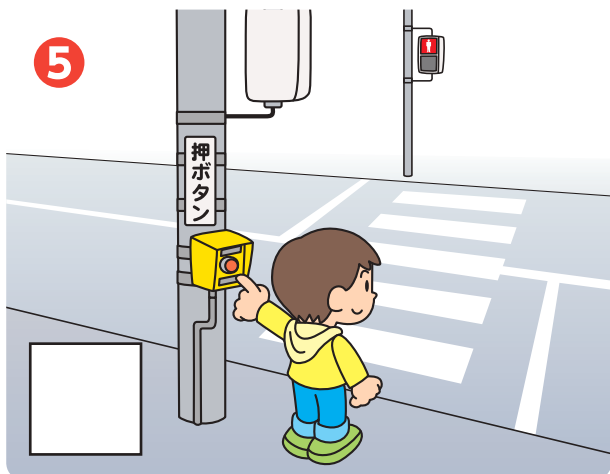
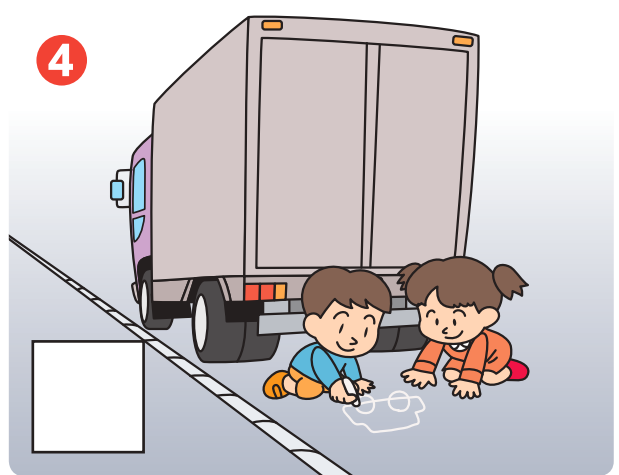
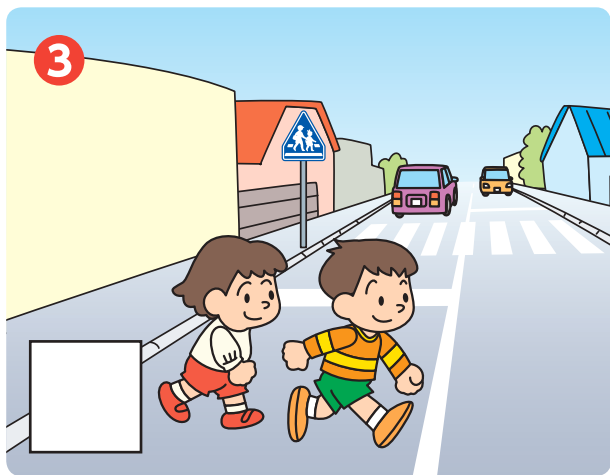
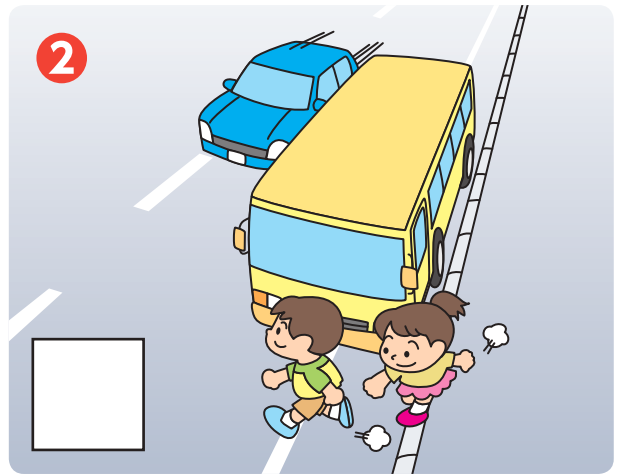
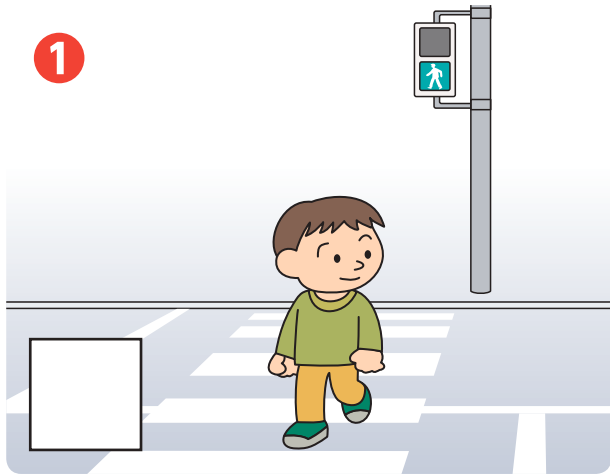
●青

車が  
きていなければ  
わたりましょう。

# やってみよう!

● どうろで あぶないことを している 子を さがして、  
□ の 中に × を つけましょう。

※ こたえは、下に かいてあります。



※ × は、2 3 4 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

# 知っているかな？

● つぎの ことばの ものを、しゃしんの 中から さがしましょう。

車どう

ほどう

おうだんほどう

こうさてん

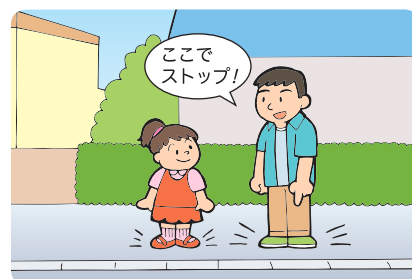
しんごうき

ガードレール



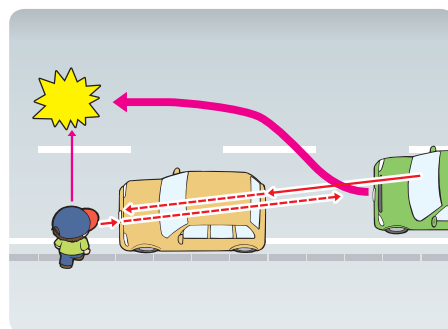
## ■横断歩道や信号機がない場所での安全な横断の手順を身につけさせる

- 小学2年生が歩行中に死傷した交通事故のほとんどは道路を横断しているときに発生していますが、その大半は横断歩道以外のところを渡っていて車にはねられたものです。
- 近くに横断歩道や信号機があるときは横断歩道を渡るように指導するとともに、近くに横断歩道や信号機がないときは、「道路の端で一度止まって右左を見る」「車がきているときは、通りすぎるまで待つ」「車がきていないときに渡る」という安全な横断の手順を実地で指導し、習得させましょう。
- 指導にあたっては、立ち止まる位置を示して教えるとともに、実際に子どもの顔を右、左に向けさせるなど、具体的な指導を繰り返すことが大切です。
- また、ただ単純に「右を見て、左を見て」と言うだけでは、子どもは顔を向けるだけで、何を見ればよいか理解できませんので、「右を見て、車がきていないかな…」などと、適切な言葉を添えて指導しましょう。



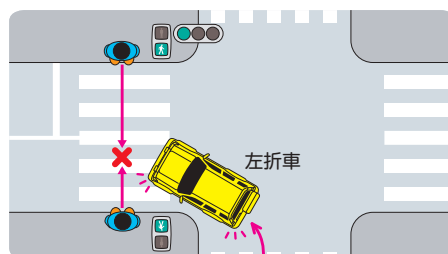
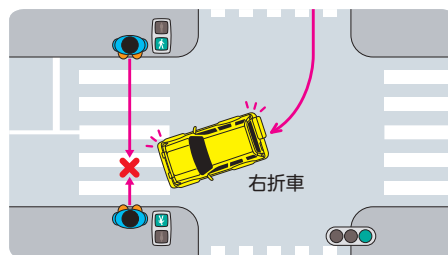
## ■駐停車車両の直前直後横断の危険性を指導する

- 止まっている車のすぐ前や後ろから横断すると、近づいてくるドライバーからは歩行者が見えず、歩行者からも近づいてくる車が見えない—ということを、実際の道路に行って体験させ、その危険性を理解させましょう。
- また、止まっている車の前後だけでなく、通りすぎた車の直後を横断することも危険であることも指導しましょう。
- 電柱や看板の陰など、左右の見通しの悪いところからの横断はどこでも危険であることも指導しましょう。



## ■青信号で横断するときの危険性を指導する

- 「信号が青になったら渡る」と単純に理解し、安全を確認しないでいきなり渡ろうとする子どもが少なくありません。たとえ信号が青でも、右折車や左折車などがくることを理解させ、車がきていないかどうか、しっかり確かめてから渡る—ということを繰り返し指導しましょう。
- 信号の意味のほか、2色の信号機（歩行者用信号機）があるときはその信号機を見る、2色の信号機がないときは3色の信号機（車両用信号機）をみる—といった基本的な信号のルールが身についているかどうか—を確かめ、理解していない場合には、あらためて指導しましょう。
- 押しボタン式信号機があるところでは、ボタンを押して青になるまで待ち、車がこないときに横断することも指導しましょう。



## ■チャイルドシートを使って座ることを指導する

- 小学2年生（8歳児）の平均身長は130cmほどですが、シートベルトはおおむね身長150cm以上の人を対象に設計されているため、身長が基準に達していない子どもがシートベルトを使うと、車が衝突したり、急ブレーキをかけたりしたときにベルトが首にかかるなどの危険があります。
- 子どもがチャイルドシートを嫌がっても、体が小さいうちはシートベルトを使うと非常に危険なことを説明し、体の大きさに適合したチャイルドシートを使用して後部座席に乗車させるようにしましょう。